

平成14年(2002年)

10/15

広報

たかやま

第928号

10月1日	総人口	67,629	(+312)
現在の人口	男	32,366	(+152)
(前年対比)	女	35,263	(+160)
	世帯数	24,878	(+317)

ホームページ
<http://www.hida.jp/>

3町村が飛騨地域合併推進協議会を脱会

合併の枠組み決定は、11月以降に

10月7日に開催された第6回飛騨地域合併推進協議会において、古川町・神岡町・白川村が脱会の意思を表明し、承認されました。他の11町村は、高山市との合併について態度を保留し、10月中に地域の意見をまとめた後、11月に開催予定の次回協議会で改めて表明することとなりました。

市議会 合併に関する特別委員会

市議会の市町村合併に関する特別委員会(全議員により構成)は、9月17日と10月1日に開催され、第5回協議会で2郡(大野・吉城)から要望のあった「新設合併の再検討」に対する協議を行いました。

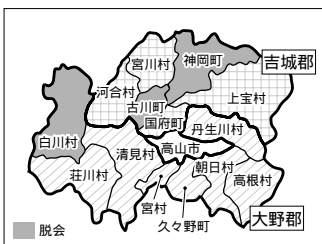
特別委員会では、市長から示された「高山市の考え方」(下記)を承認し、第6回の協議会で改めて表明することを了承しました。

飛騨地域合併推進協議会

第6回協議会では、高山市の考え方を示した後、各町長からそれぞれ意見が出されました。その中で古川町・神岡町および白川村が脱会の意思を表明し、承認されました。

1市2郡の枠組みで合併ができなくなったことに対し、残念でならないという意見が出されたほか、新しい枠組みについては議会や地域住民の意見を聞いて検討するという意見が出され、合併の枠組みの決定は11月以降に持ち越されました。

11町村は、10月中に地域の意見をまとめた後、11月に開催予定の次回協議会で改めて表明することとなりました。



改めて示した

「合併についての高山市の考え方」全文

8月29日の第4回合併推進協議会において、合併についての高山市の考え方を示しました。

① まず、市町村合併に対する対応であります。高山市としては、当初より終始一貫して1市2郡による合併の推進、合併にあたっては対等互譲の精神で住民の視点に立つて行うことを示してきており、現在もこの考え方に変わりはありません。

② 次に合併の方式でありましたが、その方法は新設合併と編入合併の二つの方式があります。合併にあたっては、地域住民の立場に立って、行政サービスの向上と早期同一化を目指して、スムーズで効率的な方法で合併を推進することが必要であります。

③ また、各町村が合併後旧町村の意見や要望を取り上げられるのか、また、高山へ一同集まるのではないかとのご心配については、旧町村に支所または出張所を置くことによりこれに対処出来ることと考えております。

④ 1市2郡が合併すると日本一広い面積をもった都市となります。これまでの都市のイメージとは異なった、日本一大きい緑豊かな環境都市として、また、すぐれた山岳景観や温泉等の観光資源を多く有するとともに、素晴らしい伝統文化、民俗文化や食文化を有する伝統文化観光都市として、知名度のアップにつながることも、これら各地域の多種多様な特性を活かした多くの可能性をもった新都市構想を描くことが出来るものと考えております。

⑤ 今後、その他の必要な事項について十分検討を進め、お互いの合意に基づいて法定協議会の設置が進められるよう各町村の皆様のご理解をお願いいたします。

合併の必要性は前にも示したとおりであります。飛騨地域の人口は著しく減少し、少子高齢化が急速に進行する見込みであります。また、税収は減少し、多くの市町村が頼りにしている地方交付税や補助金の見直しが進められる中で、地方分権の推進によりこれまで以上に福祉サービス等の向上が求められることとなります。したがってこれらの課題の一つの解決策として市町村合併を推進し、お互いが助け合い、痛みを分け合う飛騨地域を発展させていかなければならないものと考え

と、地域審議会を旧町村すべてに設置し、できる限り住民の意見や要望を聞き実行することによりこれに対処出来ることと考えております。

この工事は、平成14年度自治宝くじの助成を受けて実施したもので、路面、植栽、ベンチなどを整備しました。市民の憩いの場としてご利用ください。

弥生橋スポットが完成



弥生橋の架け替えにあわせて工事を行っていた弥生橋スポットが、七日町側交差点角に完成しました。

教育委員長に海老原比呂美さんを選任



第8回教育委員会臨時会を開催し、委員長に海老原比呂美さん(写真)を、職務代理人に平岡須美子さんを

赤い羽根共同募金



12月31日までご協力をお願いします